

平成27年度 第1回生駒市入札監視委員会議事概要書

開催日及び場所	平成27年7月28日(火) 生駒市役所 3階 302会議室			
出席委員等	委員長	森 裕之		
	委員長代理	豊永 泰雄		
	委員	松山 治幸		
	事務局	今井企画財政部長・上村契約検査課長・西田契約検査課長補佐・澁谷契約係主査・黒松契約係職員		
	抽出案件説明担当課	スポーツ振興課	黒松課長補佐	
		浄水場	乾場長・東浦主査	
教育総務課		真銅課長・井上課長補佐		
竜田川浄化センター		山本課長・花井所長		
工務課		富永課長・高木副係長		
営繕課	北村係員・中野係員			
審議対象期間	平成26年12月1日 ~ 平成27年5月31日			
抽出案件	総件数	5件	(備考)	
一般競争入札		3件	期間内入札等件数 一般競争入札 60件 指名競争入札 0件 随意契約 14件	
指名競争入札		0件		
随意契約		2件		
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答		
	別紙のとおり			
委員会による意見具申又は勧告の内容				

質 問	回 答
<p>1-(1) 一般競争入札、指名競争入札及び随意契約の執行状況について</p>	<p>平成26年12月1日から平成27年5月31日までに契約された各方式別の状況について報告をしました。</p>
<p>1-(2) 抽出案件の参加資格設定理由及び業者の選定理由について</p>	<p>各抽出案件について、一般競争入札における参加資格設定理由、選定理由及び工事概要を事務局から説明しました。また、随意契約分については、担当課から業務概要及び随意契約理由を説明しました。</p>
<p>●抽出案件1(イモ山公園グラウンド防球ネット設置工事:一般競争入札:スポーツ振興課)について</p>	
<p>対象業者数12者に対して、予定価格が高いのにも関わらずなぜこれほど応札者が少ないと考えられますか。</p>	<p>本案件は、外構工事に登録している12者全ての業者を対象にしていますが、発注時期が年の後半であったことが原因として考えられます。</p>
<p>全ての業者に履行能力があるのでしょうか。</p>	<p>とび・土工に該当する外構工事に登録しており、建設業法上許可を持っている業者なので問題はありません。</p>
<p>経営審査等の関係資料は提出されているということですね。</p>	<p>はい、そうです。</p>
<p>対象業者を増やすとしたらどうすればよいと思いますか。</p>	<p>1つ考えられるのは、施工実績を問わないようにすることです。しかし、今年の登録業者数は16者に増えており、通常のやり方のままで良いと思います。あとは、全者に電話で声掛けをする等が考えられます。</p>
<p>今回の案件を知らない業者がいた可能性はありますか。</p>	<p>はい、あります。過去に数回しかないような案件は業者が見ていない可能性もあります。これは一般競争入札の弱点だといえます。</p>
<p>防球ネットを設置することになった背景は何ですか。</p>	<p>既存の防球ネットはありましたが、隣接しているテニスコートに野球ボールが入るといった問題がありました。そこで元々あった8～10mの防球ネットを撤去後新しく18m(地上部分からは15m)の新しいネットを設置したということです。</p>
<p>地域からの要望はあったのですか。また、ポールが高いほど費用がかかるとはありますが、これほどの高さは必要なのですか。</p>	<p>はい、ありました。一般的にこの高さが使用されています。</p>
<p>ほとんどボールは入らなくなりましたか。</p>	<p>新設してから、ボールが入ったという話はありません。</p>
<p>増額の契約変更が生じていますが、どのような理由ですか。</p>	<p>当初、電柱色のようなコンクリートで発注していましたが、イモ山公園グラウンドは砂防指定地、景観地区に入っていることから、みどり景観課と色の調整を行い、ブラウン系に変更したためです。</p>

質 問	回 答
<p>あまり市役所側の理由で変更契約をするのは望ましくないとと思うので、今の話でも事前に調整できていないという印象を受けます。変更契約は多いのですか。</p>	<p>工事案件の約6～7割ほどあります。</p>
<p>どの段階で変更されたのか、また当初費用のまま変更することはなかったのですか。</p>	<p>当初は電柱色で発注していましたが、色々な協議の中で、できる限りブラウン系にしてほしいという話があり、納品前のタイミングで色を変更しました。18mのポールが9本あり、1本あたりに塗装費用がかかるのでこの金額になりました。</p>
<p>安価という理由で当初の色にしていたのではないのでしょうか。また見積もりをする際に色の積算や、コンピューターの映像を作る等のことはしましたか。</p>	<p>安価という理由ではなく、担当課としては防球ネットというポールが飛び越えないということを主題においており普通の色で発注していました。当初は色の積算はしておらず、映像も作っていません。あくまで防球ネットを設置するという発注のみでした。</p>
<p>変更契約の最終的な許可はどのような体制で行われていますか。</p>	<p>基本的に、担当課での決裁になります。契約検査課は最終検査をするので合議という形で見ますが、後は変更契約の金額によって決裁区分が変わります。</p>
<p>他市では変更契約によって落札率を上乗せしようとする事件もあり、変更契約が多いとそのようなリスクが大きくなるので、適切性は担保されているのでしょうか。</p>	<p>変更契約は必要に応じて行っており、監督員の確認もしっかりしているので、通常は問題がないと思います。</p>
<p>●抽出案件2(滝寺中継所建設工事：一般競争入札：浄水場について)</p>	
<p>本案件は一度不落になっており、金額が非常に高い反面、対象業者数184者に対して1者で、落札率が高く、同じ業者が落札した他の案件では落札率がかなり低いですが、ここまで差のある応札をしているのはなぜですか。</p>	<p>聞き取りを行った結果、1つは時期的な問題であり、年の後半になると工事発注はあるものの人手が少ない状態で、人の余裕の有無で参加するかどうか分かれるのだと思います。また本案件の予定価格は高いとも言えず、手間のかかる特殊な工事であったことが原因だと考えられます。他の案件につきましては、工事内容が違うので競争性が働いていた結果だと思います。</p>
<p>工事工期が3月から1年間のようですが、この時期に発注しなければならないのですか。発注時期を検討し、入札しやすい時期にするなど考慮してはどのようにですか。</p>	<p>工期については1年半を予定していましたが、不落により1年間となっています。またグラウンドの使用の関係により、秋口での現場作業をできるだけ避けたいためこの時期に発注しています。</p>
<p>全ての業者に履行能力があるのでしょうか。</p>	<p>電気工事で本工事予定価格の1/2以上の金額の施工実績を求めており、落札業者の経審点から約70者が参加可能だと思われます。</p>
<p>応札者が1者しかなければ入札を見送る等の対処をしてみてもはどうでしょうか。</p>	<p>水道施設の老朽化に伴う工事ですので、見送ることは難しいです。</p>

質 問	回 答
<p>金額が高く、落札率も高いと税金の負担も高くなるので、対応策を考えておく必要があるのかもしれないね。</p> <p>本案件につきましては、なぜ対象業者数184者に対して1者しか入札しなかったのかを引き続き調査していただきたいと思います。</p>	<p>1者応札で敬遠されたかと思いますが、実際の現場は、市街地ですが、公園の中ですので市街地に伴う経費率の割り増しは行っていませんので厳しい積算をしています。</p> <p>聞き取り等の調査を行い次回の委員会で報告させていただきます。</p>
<p>●抽出案件3(真弓学童施設分割設計業務:一般競争入札:教育総務課)について</p>	
<p>先ほどの話にもありましたが、他の案件に比べて、本案件は落札率が非常に高く、応札数が1者しかなかったのは理由はなぜですか。</p>	<p>正直わかりません。ずっと応札者が減っており年の後半の案件で業者も忙しいという事もありますが、落札率との関係は過去にもこのような事がなかったので、理由は計りかねています。</p> <p>報告事項での報告になるのですが、こういう応札者が非常に少ないという事態を受け、平成27年度から建築設計、建設コンサルタントのランク付けをなくし、地域要件を撤廃した状態で入札をしております。建築設計3件、建設コンサルタント4件の開札を終え、参加数が増えており地域要件をなくした結果が出ているということが判明しています。抽出していただいた案件については、年度末で、かつ、業者が積極的に取るつもりはなかったと判断するしかないかと思います。</p>
<p>先ほどの質問でもありましたが、この時期に入札を行わず、ずらすことは可能なのでしょうか。年度末で仕事を抱えながら、無理に取る必要がないので高い金額で入れ、1者入札であったため落札者となり高い落札率になっています。これを落札率が落ちるであろう時期を選ぶことはできなかったのでしょうか。</p>	<p>まず本案件は学校の関係上、夏休みが中心となり工事に制限があります。設計を後にずらしますと、学童の分割工事が来年度になってしまいます。国の基準では一箇所通常40人程度、市の方針としては60人を超えたら分割を検討するという形をとっています。本市では例年50人程度で当初分割を想定していませんでした。しかし、平成26年度当初で低学年で学童を希望する方が増え70人を超え、急遽設計をして分割を行うこと決めました。</p>
<p>検討の時間を考えるとこの1月の開札が一番早かったと考えられるわけですね。</p>	<p>この時期を逃してしまうと1年ずれてしまいますので1月開札になりました。</p>
<p>今後も70名程度と推測しているのですか。</p>	<p>はい、過去6年の割合等を見ても、70人～80人程度続くと思われ、分割は止むを得ないと考えております。</p>
<p>●抽出案件4(竜田川浄化センター汚泥脱水機修繕工事:随意契約:竜田川浄化センター)について</p>	
<p>見積もり徴収業者が11者と、多くの業者から見積もりを取った理由は何ですか。</p>	<p>見積り価格を用いて予定価格を出すためです。1者での見積もりも可能ですが、できれば多くの業者から取り、価格の妥当性を見るためです。また11者というのは、過去に機器修繕工事において落札した業者と見積もりを取ったことのある業者を対象にしました。</p>

質 問	回 答
落札業者さんに決めた理由は何ですか。	汚泥の脱水機というのは竜田川浄化センターでは1台しか稼動しておらず、毎日必要な機械なので、ある程度の期間しか止めることができません。汚泥脱水機は既施設と密接に関係のある業者の子会社以外が修繕をすると、他のところにも影響を及ぼす可能性があるためリスクを考え業者を決定しました。
他の案件はほとんど1者しか見積もりをとっていませんが、複数見積もりを取ることはあまり考えてはいないのですか。	場合によります。
業者さんはきちんと見積もりを出してくれるのでしょうか。	今までの付き合いがあるので、出している状況ではあります。
見積もりに対して費用は払うのですか。また業者さんは見積もりをきちんと行っているのでしょうか。	払いません。きちんと行っていただいています。
元々は落札業者に決めようとしていたということですよ。予定価格は積算資料等から出すのは無理なのですか。また、予定価格をどのように算出していますか。	そうですね、先ほどご説明いたしました理由で落札業者に決めていました。積算資料等から予定価格を出すのは無理です。予定価格が元々ないので、見積価格から平均値を出し、異常値を除いた一番低い金額を予定価格としました。
機械はいくらぐらいしたのですか。また、それはだいぶ古いのですか。	約1億円かかり、設置して15年になります。
新しい機械を買おうとする動きはなかったのですか。	現在、奈良県の流域下水道センターで竜田川の汚水を処理してもらう話しを進めているところなので、新しいものに更新するのではなく修理という形で進めました。
予定価格は一番下の落札業者の価格と聞きましたが、交渉してそこまで落としてもらったということですか。	100万円程落としていただきました。
他の1者見積もりも同じように交渉しているのですか。	一般的に随意契約の場合は交渉を行っております。
<p>●抽出案件5(市内3箇所 耐震貯水槽用緊急遮断弁分解整備:随意契約:工務課)</p>	
他の案件に比べて契約金額が高く、先ほどの話ですと、なるべく値段の交渉を行うことが多いと思いますが価格が高止まりしている理由は何ですか。	本市の設計金額と比較した中で、材料費は変わりませんが人件費と技術料が高いからです。
予定価格は落札業者が出したのですか。	落札業者からは材料価格・人区等の見積りを出してもらい、予定価格は市の方で算出しました。

質 問	回 答
他にも同じような貯水槽やオーバーホールがありますよね。	3箇所あり、オーバーホール2箇所と小学校の周辺で、災害時に破裂修繕などがあります。緊急時飲料水の確保ができるように弁の作動点検を毎回しています。貯水槽の耐用年数は早いものと8年、15～6年保てるものもあります。メーカーは10年といいますが、実際は点検した結果、不備のあるものは早急に修繕し、定期的にオーバーホールしているわけではありません。
以前はいつオーバーホールしましたか？	生駒中学校では設置してから8年で市役所では14年経過しており、今回初めてのオーバーホールでした。生駒台小学校は平成16年に行っており、約10年が経過しています。
100m ³ の水は時々入れ替えるのですか？	水道管を膨らませており、その中を常時新しい水が流れています。災害で水圧が下がったら自動的に弁が閉まりますので100tの飲料水が確保されます。
各自治体はこのような貯水槽をもっているのですか。	最近作りかけているところが多いです。
貯水槽はメンテナンスが必要となるので、代わりになるペットボトルを備蓄する等、別の方法で対応することはできないのでしょうか。	ペットボトルには賞味期限がありますので難しいです。貯水槽なら100m ³ となると1万人が3日間が使用する量がありますし、手置きポンプとエンジンポンプを設置しているので、避難所の近くですぐに使っていただける利点があります。
災害時の食料品を備蓄していると聞きますが、水は備蓄していないということですか。	配水池に急遮断弁を配置しており、浄水場ではきれいな水が溜まっているので10～15日程の水を確保できます。
市民の人に周知しているのですか。	看板やホームページに掲載させていただいています。防災訓練でも活用しています。
1－(3) 入札参加停止措置の運用状況について	平成26年12月1日から平成27年5月31日までの入札参加停止措置を行った状況について報告しました。
悪質なものはあったのですか。	談合がありました。談合等の不正行為に対し、国よりも長い12ヶ月の入札参加停止をしています。
1－(4) 市長マニフェスト「市内事業者活性化・新規誘致の促進」等の実現に向けて	平成27年度の入札制度の検討課題について報告しました。…1. 入札参加資格等の地域要件について 2. 施工実績のない者に対する入札参加資格要件について 3. 発注標準について 4. 最低制限価格制度について
これは市長の案ですか。	市長マニフェストの意味は、地域活動や防災支援を行う市内業者に対し何らかの優遇をということで、説明した1～4についてこれから検討していくに当たり委員のご意見をお聞かせ願いたいと思っています。

質 問	回 答
<p>具体的には総合評価しか優遇する方法が思いつかないのですがどうでしょうか。</p>	<p>地域要件の見直しをすることで、市内本店を優遇する策もあります。他市では本店のみの参加にしていますが、本市の場合は支店を持っていれば参加できるため、不公平ではないかという声も多く、競争性が発揮できる部分に関しては市内本店での入札を検討しています。</p>
<p>昔は指名入札で落札率も高く、競争性が発揮されていないのではないかという観点から、競争性を高める一環として市外業者を入れました。その効果もあり落札率が下がってきましたが、現在は最低制限価格に張り付くという状態になり、以前とは全く状況が変わってきており、その中で多くの案件を市外業者が落札しているので、市内本店に絞る等地域要件を強化し、市内本店が落札すれば市内でお金が循環するのでマイナス面がないため、市内本店に絞るということですね。</p>	<p>はい、そのとおりです。</p>
<p>前回、前々回の会議でも不調が多いという話もあり、今回も1者しか参加していない案件が抽出されている状況で、地域要件を絞る必要があるのでしょうか。競争性が発揮されている業種とそうでない業種があるのであれば、その整理から始めてみてはどうでしょうか。感覚的に地域を重視しようとするのは政策の継続性としての観点からも、前市長からの改革の意義を失うのではないのでしょうか。何か他に気になることはありますか。</p>	<p>地域要件と最低制限価格制度についてどのように考えるのか難しいと考えています。課題についてはこれから内部で検討していきたいと思っています。</p>
<p>1-(5) その他 建築設計及び建設コンサルタント業務の格付廃止及び発注標準見直し後の開札状況についての報告</p>	<p>入札参加者数が昨年度に比べ増加していることを報告しました。</p>
<p>落札率は下がっていますが、入札参加者数は明らかに増えていますね。</p>	<p>落札率については競争性が働いた結果と考えています。</p>
<p>格付けを廃止したことで仕事の内容には問題がないのですか。</p>	<p>案件ごとの参加資格要件で実績等を審査していますので問題はありません。</p>
<p>1 案件抽出委員(当番委員)の指名について</p>	<p>生駒市入札監視委員会運営要領第3条第1項第2号に基づき、豊永委員長代理に決定しました。</p>
<p>2 次回開催日について</p>	<p>次回の開催は、定例会議として平成28年1月28日(木)午後1時30分から開催することに決定しました。</p>